

令和8年度 第1回 山城エリア介護労働懇談会の開催 京都支部

開催日時: 8月17日(月) 10:00 ~ 11:30

テーマ・議題

- ①山城エリア(宇治市・城陽市・久御山町) 介護労働懇談会 3年目を迎えて
- ②岡本講師 講演「施設・事業所の組織対応力を考える」～住民が適切なサービスを受けられる仕組みづくり～
- ③講演を踏まえ各市町合同2グループによるグループワークと情報交換

主な参加機関

山城エリア行政の各課長および職員

- ①宇治市 健康長寿部 介護保険課 ②久御山町 民生部 福祉課 ③城陽市 福祉保健部 高齢介護課

(講演資料一部)

テーマ：自施設・事業所の組織対応力を高める
組織対応力とは

事業所やチーム等の組織全体が、個人の力に頼るだけでなく連携やシステムを活用して、アクシデント等に対応する総合的な力

主要要素・・・「情報共有」「連携と協調」「柔軟性」
メリット・・・「属人化の防止」「迅速な問題解決」

☞連携・・・多職種が連絡を取り合って1つの目的のために一緒に物事を行う手段

☞協働・・・1つの職種では解決できない課題に対し、異なる専門性をもった職種が集まり、さまざまな立場の視点をいかし、対等の立場で協力して共に働くこと

☞多職種連携・協働

・・・複数の職種がそれぞれの技術や知識をもとに役割分担を行いながら、利用者の

QOL(Quality of Life: 生活の質)の向上に向けて、共通の目的・目標を目指していくこと

主な内容等(介護事業所が自施設・事業所課題を認識できる行政対応についての情報共有・意見交換)

- ・住民が適切なサービスを受けられる仕組みづくりをテーマに、令和6年度は「カスタマーハラスメントへの適切な対応」、令和7年度は「介護事業所の人材定着とそのポイント」について、市町を超えた山城エリア各行政担当者に向けた講師講演による体系的な学習と意見交換の場をつくり、同エリアの介護事業所に向けた集団相談にもつなげ、連携強化を図ってきた。
- ・本年度は、令和7年度第2回懇談会で討議し確定した「施設・事業所の組織対応力を考える」をテーマとし、介護事業所に自ら課題を認識してもらうための行政としての対応を、講演で体系的に学び、グループワークで各市町実情の情報共有や意見交換を行うこととした。
- ・結果として、今まで積み上げてきた関係構築により、活発な情報共有・意見交換が行われ、介護労働安定センターを軸にした市町を超えた現場レベルでの関係強化を推進できたと考えている。

参加団体からのお知らせ・状況報告等

- ・山城エリア合同の介護事業所を対象にした集団相談(城陽市主催)を、9月1日(火)城陽市役所会議室で開催します。※テーマは、「自施設・事業所の組織対応力を高める」。8月14日現在参加申込者17名につき、宇治市、久御山町にも更なる参加者確保をお願いしたい。(by 城陽市、介護労働安定センター京都支部)

事務局(介護労働安定センター 京都支部) からコメント

お問合せは、Tel 075-802-3237 御連絡ください。